

# 南海トラフ地震臨時情報に関する県・市町連絡会議（オンライン）

## 次 第

日時： 令和6年8月9日（金） 14：30～

### 1 開 会

### 2 あいさつ

### 3 議 題

- （1）南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）及び全国の被害情報等について
- （2）県の対応等について

### 4 意見交換

### 5 閉 会

#### <配付資料>

- 資料1 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）について 【気象庁】
- 資料2 宮崎県日向灘を震源とする地震による被害及び消防機関等の対応状況（第5報） 【消防庁】
- 資料3 宮崎県日向灘を震源とする地震による被害等について 【兵庫県】
- 資料4 県の対応状況・メッセージ
- 参考1 南海トラフ地震リーフレット 【内閣府・消防庁】
- 参考2 関西広域連合メッセージ

南海トラフ地震臨時情報に関する県・市町連絡会議 出席者名簿

<市町>

市町名	職名	氏名
神戸市	危機管理監	筒井 勇雄
尼崎市	副市長	森山 敏夫
西宮市	危機管理監	西岡 秀明
芦屋市	市長	高島 峻輔
伊丹市	市長	藤原 保幸
宝塚市	危機管理監	数田 牧
川西市	総務部長	田家 隆信
三田市	市長	田村 克也
猪名川町	主幹	柘田 二郎
明石市	副市長	佐野 洋子
加古川市	防災監	北村 順
高砂市	理事	永井 幹雄
稲美町	町長	中山 哲郎
播磨町	副町長	平野 祐次
西脇市	市長	片山 象三
三木市	市長	仲田 一彦
小野市	市長	蓬萊 務
加西市	政策部長	深江 克尚
加東市	市長	岩根 正
多可町	町長	吉田 一四
姫路市	危機管理室長	村田 泉
神河町	町長	山名 宗悟
市川町	事業参事兼建設課長	仲井 正昭
福崎町	副町長	近藤 博之
相生市	市長	谷口 芳紀
たつの市	市長	山本 実
赤穂市	副市長	溝田 康人
宍粟市	市長	福元 晶三
太子町	町長	沖汐 守彦
上郡町	副町長	山本 高士
佐用町	町長	庵迢 典章
豊岡市	危機管理部長	畑中 聖史
養父市	副市長	今井 久雄
朝来市	副市長	天野 修二

市町名	職名	氏名
香美町	町長	浜上 勇人
新温泉町	町長	西村 銀三
丹波篠山市	防災・消防交通担当部長	森本 康幸
丹波市	係長	梅垣 耕平
洲本市	市長	上崎 勝規
南あわじ市	副市長	喜田 憲和
淡路市	副市長	山名 実

< 気象庁 >

部局等	職名	氏名
神戸地方気象台	台長	吉野 昌史

< 兵庫県 >

職名	氏名
知 事	齋藤 元彦
副知事	服部 洋平
防災監	池田 頼昭
危機管理部長	唐津 肇
危機管理部 次長	小野山 正
危機管理部 次長	柳田 順一
危機管理部 総務課長	千田 達也
危機管理部 防災支援課長	宮崎 伸一
危機管理部 防災支援課 広域防災官	石井 孝佳
危機管理部 災害対策課長	陰山 暁介
危機管理部 災害対策課 訓練調整官	内田 忠
危機管理部 消防保安課長	中嶋 嘉彦

発生時刻（地震が発生した時刻）	8月8日16時42分頃
マグニチュード	7.1（暫定値）
発生場所	日向灘（宮崎の東南東30km付近） 深さ31km
震度	【最大震度6弱】宮崎県の日南市(にちなんし)で震度6弱を観測したほか、東海地方から奄美群島にかけて震度5強～1を観測

令和6年8月8日16時43分頃の日向灘の地震について

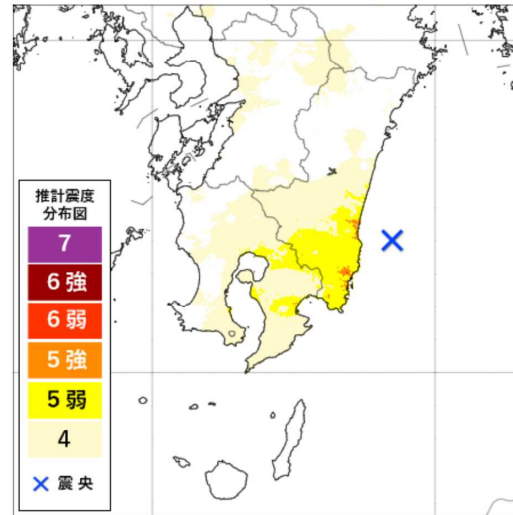
## 震度分布図・推計震度分布図

【各地域の震度】



8月8日16時55分発表

推計震度分布図



※留意事項は以下リンクからご確認ください。

### ・兵庫県内で観測された震度

#### 震度2

豊岡市、南あわじ市、淡路市

#### 震度1

豊岡市、南あわじ市、淡路市、  
尼崎市、西宮市、加古川市、  
高砂市、播磨町、相生市、  
赤穂市、たつの市、上郡町

### ・兵庫県内の

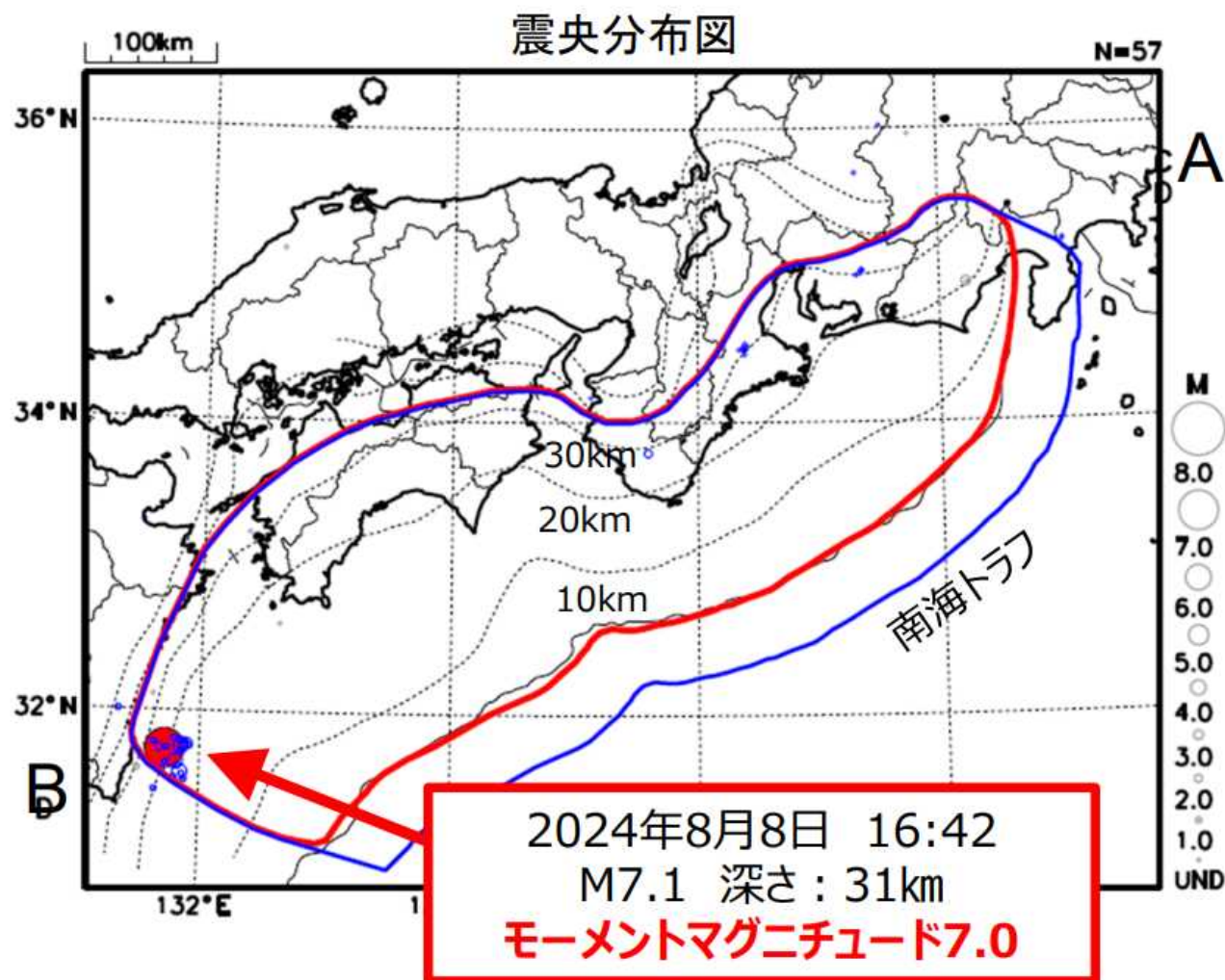
津波注意報、警報の発表状況

発表なし

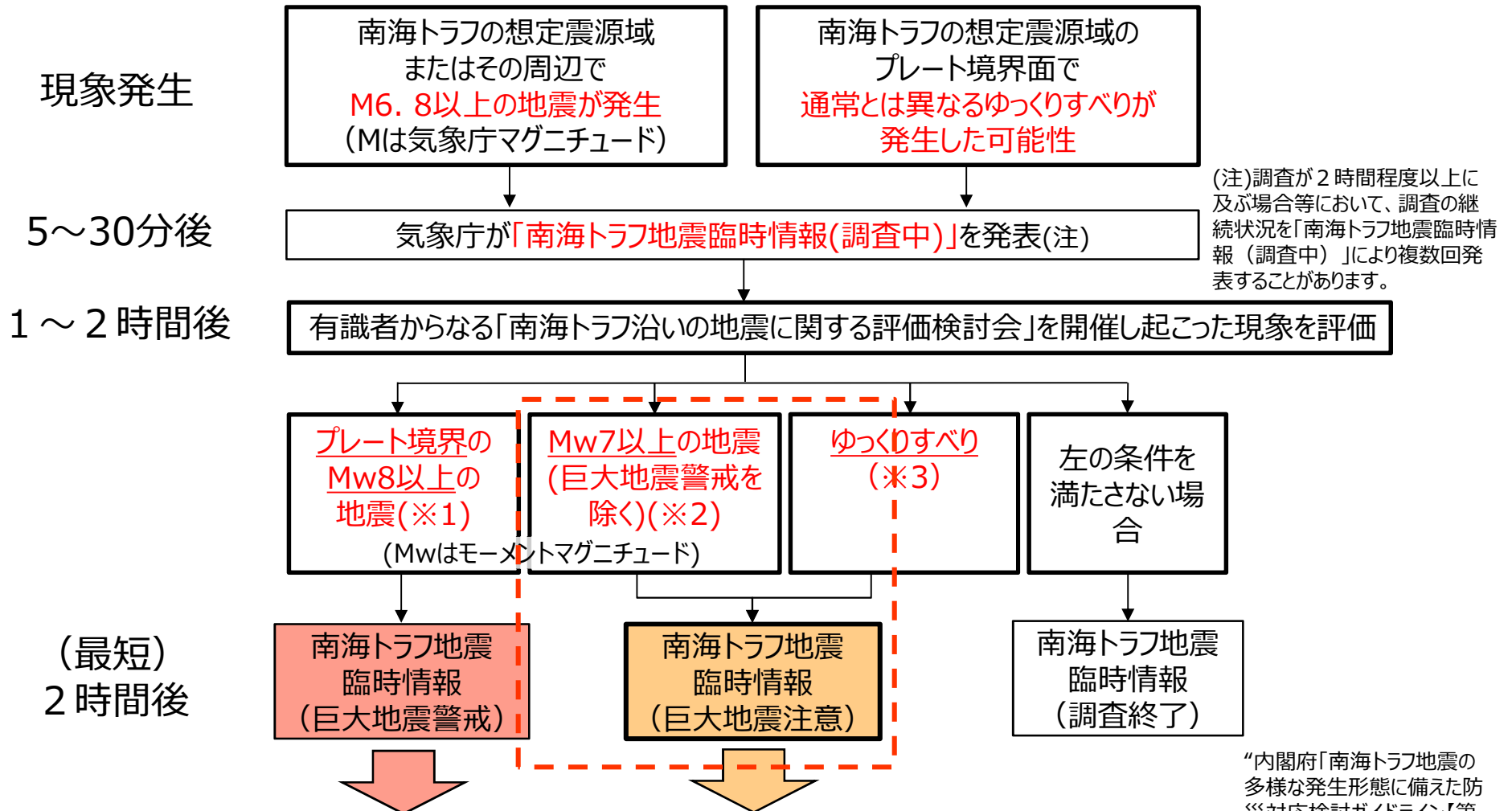
# 今回の地震活動

(震源の色について) 赤色: 今回の地震、青色: 今回の地震より後に発生した地震、灰色: 今回の地震より前に発生した地震

2024年08月08日14時00分～ 2024年08月08日18時00分、  
深さ0～150km、M全て



# 南海トラフ地震臨時情報の発表の流れ



(注)調査が2時間程度以上に及ぶ場合等において、調査の継続状況を「南海トラフ地震臨時情報(調査中)」により複数回発表することがあります。

政府の呼びかけに応じて地方公共団体、企業、住民等が防災対応を実施

“内閣府「南海トラフ地震の多様な発生形態に備えた防災対応検討ガイドライン【第1版】」の図を修正”

- ※1 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてMw8.0以上の地震が発生した場合(半割れケース)。
- ※2 南海トラフの想定震源域内のプレート境界においてMw7.0以上、Mw8.0未満の地震が発生した場合、または南海トラフの想定震源域内のプレート境界以外や想定震源域の海溝軸外側50km程度までの範囲でMw7.0以上の地震が発生した場合(一部割れケース)。
- ※3 ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合(ゆっくりすべりケース)。



# 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表

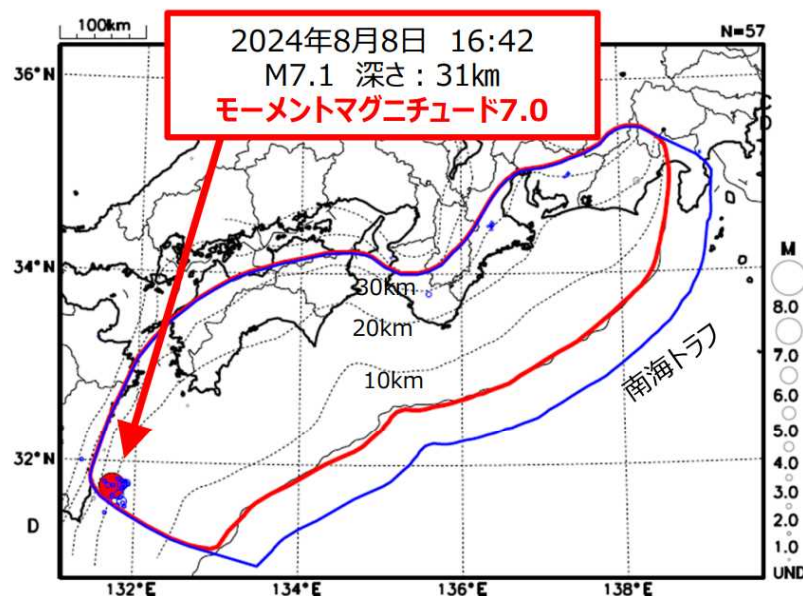
南海トラフ地震の想定震源域では、**新たな大規模地震の発生可能性が平常時と比べて相対的に高まっていると考えられます**

今後、もし大規模地震が発生すると、**強い揺れや高い津波を生じると考えられます**

※新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、特定の期間中に大規模地震が**必ず発生することをお知らせするものではありません**

※モーメントマグニチュードは、震源断層のずれの規模を精査して得られるもので、地震発生直後に地震波の最大振幅から計算し津波警報等や地震情報の発表に用いるマグニチュードとは異なります。

今回の地震の発生場所



- ・赤線は想定震源域、青線は南海トラフ地震臨時情報発表に係る地震活動の監視領域
- ・黒点線は、フィリピン海プレート上面の深さ

- もう一度大規模地震が起こる可能性は、先に発生した地震のマグニチュード(M)が“8”なら十数回に1回、“M7”なら数百回に1回程度(※1)となりますが、発生確率は普段より高まっており、警戒レベルを上げる必要があります。

(※1)過去数百年の統計データによる発生の可能性。




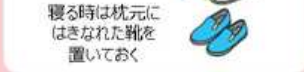





- 新たな大規模地震が発生する可能性は平常時と比べると高まっていますが、特定の期間中に大規模地震が必ず発生することをお知らせするものではありません。

南海トラフ地震臨時情報は、できるだけ普段の生活を送りながら、次の地震に最大限、警戒していただく



# 3つのケースの防災対応の流れ

内閣府ホームページより

地震発生から最短2時間後	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震警戒)	南海トラフ地震臨時情報 (巨大地震注意)	南海トラフ地震臨時情報 (調査終了)
(最短) 2時間程度	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</li> <li>地震発生後の避難では間に合わない可能性のある住民は<b>事前避難</b></li> </ul> 	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</li> </ul>   	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常的生活を行う。</li> </ul>   
1週間 (※)	<ul style="list-style-type: none"> <li>日頃からの地震への備えの再確認に加え、地震が発生したらすぐに避難するための準備</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常的生活を行う。</li> </ul>  	
2週間	<ul style="list-style-type: none"> <li>大規模地震発生の可能性がなくなったわけではないことに留意しつつ、地震の発生に注意しながら通常的生活を行う。</li> </ul>		

※ 通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合は、すべりの変化が収まってから変化していた期間と概ね同程度の期間が経過したときまで

## 揺れを感じたら直ぐに避難できる態勢の準備と身の安全の確保

- すぐに避難できる態勢での就寝
- 非常持出袋の常時携帯
- 緊急情報の取得体制の確保
- 屋内のできるだけ安全な場所での生活
- 危険なところにできるだけ近づかない

## 日頃からの地震への備えの再確認

- 避難場所・避難経路の確認
- 非常持出品の確認など
  - ・ モバイルバッテリーは充電されているか？
  - ・ 懐中電灯の電池は切れていないか？
  - ・ 非常食の賞味期限は切れていないか？
- 家具の固定の確認
- 家族との安否確認手段の確認
  - SNS・メール・電話・災害伝言ダイヤル

# 宮崎県日向灘を震源とする地震による被害及び 消防機関等の対応状況（第6報）

（これは速報であり、数値等は今後も変わることがある。）

令和6年8月9日（金）14時00分  
消防庁災害対策本部  
※下線部は前回からの主な変更点

## 1 地震の概要（気象庁情報）

- (1) 発生日時 令和6年8月8日16時42分頃
- (2) 最大震度  
震度6弱 宮崎県：日南市
- (3) 津波の状況  
《津波注意報》  
・令和6年8月8日 16時44分発表 高知県、宮崎県  
16時52分発表 大分県、鹿児島県  
19時00分解除 高知県、大分県、鹿児島県  
22時00分解除 宮崎県

## 2 被害の状況

### (1) 人的被害・住家被害

都道府県	人的被害							住家被害					非住家被害			
	死者 人	うち 災害関連死 人	行方 不明者 人	負傷者			合計 人	全壊 棟	半壊 棟	床上 浸水 棟	床下 浸水 棟	一部 破損 棟	合計 棟	公共 建物 棟	その他 棟	合計 棟
				重傷 人	軽傷 人	小計 人										
熊本県				1	1	2	2									
宮崎県				1	7	8	8									
鹿児島県					4	4	4	1				2	3			
合計				2	12	14	14	1				2	3			

### (2) その他の被害（消防本部情報等）

【宮崎県】 日南市において、避難中に1人負傷（程度不明）

西都市において、地震発生時に呼吸困難を訴える1人を搬送（程度不明）

### (3) 火災の発生状況（住家等）

現時点で被害報告なし

### (4) 重要施設の被害

【鹿児島県】 東串良町、肝付町（石油コンビナート等特別防災区域内）の危険物施設において、全43基中37基のタンクから少量の漏洩（さらなる漏洩の見込みなし）

## 3 避難指示の状況

都道府県	警戒レベル5 緊急安全確保					警戒レベル4 避難指示					警戒レベル3 高齢者等避難				
	市	町	村	世帯	人数	市	町	村	世帯	人数	市	町	村	世帯	人数
高知県											1	1	0	27,991	56,213
鹿児島県						1			42	50					
合計						1			42	50	1	1	0	27,991	56,213

## 4 都道府県における災害対策本部の設置状況

- 【東京都】 8月8日 19時15分 災害対策本部 設置
- 【愛知県】 8月8日 17時00分 災害対策本部 設置
- 【三重県】 8月8日 17時00分 災害対策本部 設置
- 【和歌山県】 8月8日 19時15分 災害対策本部 設置

【徳島県】 8月8日 19時50分 災害対策本部 設置  
【高知県】 8月8日 19時15分 災害対策本部 設置  
【宮崎県】 8月8日 16時43分 災害対策本部 設置

## 5 地元消防機関の活動等

【大分県】 8月8日 17時38分 大分県防災ヘリにより情報収集活動を実施  
【宮崎県】 8月8日 17時26分 宮崎県防災ヘリにより情報収集活動を実施  
【鹿児島県】 8月8日 17時52分 鹿児島県防災ヘリにより情報収集活動を実施

## 6 緊急消防援助隊等の活動等

8月8日 16時43分 消防庁から以下の都道府県に対して出動準備を依頼

### 【統括指揮支援隊】

福岡県（福岡市消防局）

### 【統合機動部隊】

福岡県、熊本県、大分県、鹿児島県

合計 4県

### 【航空小隊】

広島県、愛媛県、高知県、福岡県、佐賀県、熊本県

大分県、鹿児島県

合計 8県

## 7 消防庁の対応

8月8日 16時43分 消防庁長官を長とする消防庁災害対策本部を設置（第3次応急体制）  
16時44分 震度6弱を観測した宮崎県に対し適切な対応及び被害報告について要請  
17時24分 都道府県に対し気象庁から発表された「南海トラフ臨時情報（調査中）」  
（南海トラフの想定震源域及びその周辺で速報的に解析されたM6.8以上の地震が発生）を周知  
19時31分 南海トラフ地震防災対策推進地域に係る都道府県に対し気象庁から発表された「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会評価結果」を伝達  
21時54分 南海トラフ地震防災対策推進地域に係る都道府県に対し「日向灘を震源とする地震に係る関係省庁災害対策会議」における松村防災担当大臣が発言した内容を周知

問い合わせ先

消防庁災害対策本部 広報班

TEL 03-5253-7513

記者発表（資料配布）				
月／日 (曜日)	担当課名	TEL	発表者 (担当班長名)	その他の 配布先
8／8 (木)	危機管理部 災害対策課	3140 (内線) 078-362-9988(直通)	災害対策課長 陰山 暁介 〔主幹 (応急対策担当)〕 加納 秀起	—

## 宮崎県日向灘を震源とする地震による被害等について (令和6年8月8日(木)20時00分現在)

(※現時点での状況であり、今後数値の変更の可能性あり)

### 1 被害等の状況

#### (1) 人的・建物被害

なし

#### (2) 火災

なし

#### (3) 停電

なし

#### (4) 鉄道・空港・高速道路

施設被害なし、通常運行

#### (5) 公共土木施設

被害なし

### 2 兵庫県の対応状況

8/8 20:30 災害対策連絡会議（会長：防災監・庁内関係課室長で構成）開催

#### <参考> 地震の概要（暫定値）

- ・地震発生： 令和6年8月8日（木）
- ・震源： 日向灘（深さ約30<sup>km</sup>）
- ・規模： M7.1
- ・最大震度： 震度6弱 宮城県日南市
- ・兵庫県内の最大震度：  
震度2（3市）豊岡市、南あわじ市、淡路市
- ・兵庫県内への津波注意報及び警報等の発表  
なし

# 県の対応状況

8日（木）

19:15 南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）発表

連絡会議体制へ移行

20:30 宮城県日向灘を震源とする地震に係る

災害対策連絡会議（第1回）

21:55 県民へのメッセージ（1回目）発出

9日（金）

10:30 知事会見

県民へのメッセージ（2回目）発出

## 知事指示

- 1 県民の安全を第一に適時・的確な情報の収集と提供を行うこと。
- 2 各部局、県内市町、関係機関等と連携して、必要な対策を行うこと。
- 3 大規模地震が発生した場合は、県民に対して沿岸域から避難することを周知徹底するとともに、落ち着いて行動するように呼び掛けること。

## 県民へのメッセージ（1回目）

- 1 本日、宮城県日向灘を震源とするM7.1の地震が発生し、気象庁は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。  
新たな大規模地震発生の可能性が平常時と比べて高まっています。
- 2 県は、兵庫県地震災害対策連絡会議を開催し、地震の発生に備えた警戒態勢を強化しています。
- 3 県民の皆様には、地震発生時の避難も含めた地震・津波への備えを再確認していただいたうえで、日常生活を続けていただくとともに、県や市町村からの呼びかけや関係機関の正確な情報に基づき、冷静に行動いただくようお願いいたします。

# 県民の皆様へ

- 1 8日（木）、宮崎県日向灘を震源とするM7.1の地震が発生し、気象庁は南海トラフ地震臨時情報（巨大地震注意）を発表しました。  
新たな大規模地震発生の可能性が平常時と比べて高まっています。
- 2 県は、兵庫県地震災害対策連絡会議を開催し、地震の発生に備えた警戒態勢を強化しています。
- 3 県民の皆様には、地震発生時の避難も含めた地震・津波への備えを再確認していただいたうえで、日常の生活を続けていただくとともに、県や市町からの呼びかけや関係機関の正確な情報に基づき、冷静に行動いただくようお願いいたします。特に、SNS等でのデマ情報等にだまされないよう気をつけて下さい。
- 4 まもなくお盆休みを迎えますが、帰省されたご家族や旅行で来県された方々におかれましても、滞在先での避難場所や経路などの確認をお願いいたします。また、他県等へ行かれる方々についても同様の確認をしていただくようお願いいたします。



# 南海トラフ地震

— その時の備え —

知ることであなたと大切な人の命を守る

南海トラフ地震は、駿河湾から日向灘沖にかけてのプレート境界を震源域として、過去に大きな被害をもたらしてきた大規模地震です。

次の南海トラフ地震は  
いつ起きてもおかしくありません。



南海トラフ巨大地震の  
想定震源域



最大震度

7



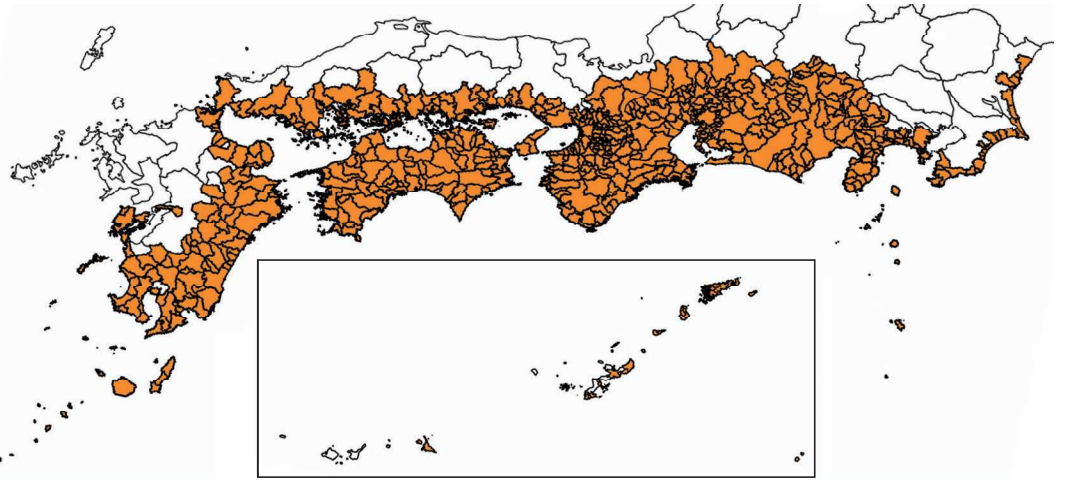
想定される津波高

最大 30m 超

南海トラフ地震の発生に伴い、関東から四国・九州にかけて極めて広い範囲で著しい災害が生じるおそれがあります。特に沿岸部では津波による甚大な被害が生じる可能性があります。大きな被害が見込まれる地域では、南海トラフ地震に備える必要があります。

南海トラフ地震で大きな被害が見込まれる地域

南海トラフ地震  
防災対策推進地域



指定基準の概要

- 震度6弱以上の地域
- 津波高3m以上で海岸堤防が低い地域
- 防災体制の確保、過去の被災履歴への配慮

南海トラフ地震が発生したら・・・



地震発生 揺れを感じたらまず身を守る行動を

突然の揺れ

**家庭で** 頭を保護して机の下など頑丈な場所に隠れる

**屋外で** ブロック塀や電柱、自動販売機など、倒れる危険のある場所から離れる

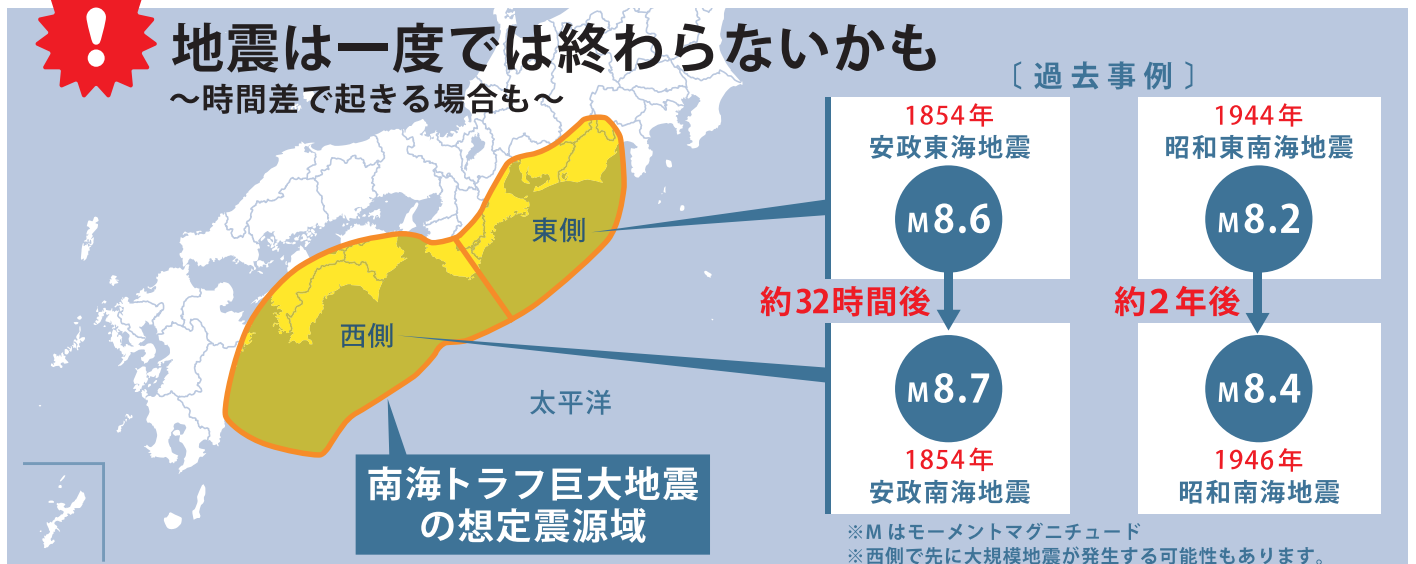
**沿岸部で** 津波の発生・襲来に備えて、安全な場所に避難する



地震は一度では終わらないかも

～時間差で起きる場合も～

〔過去事例〕



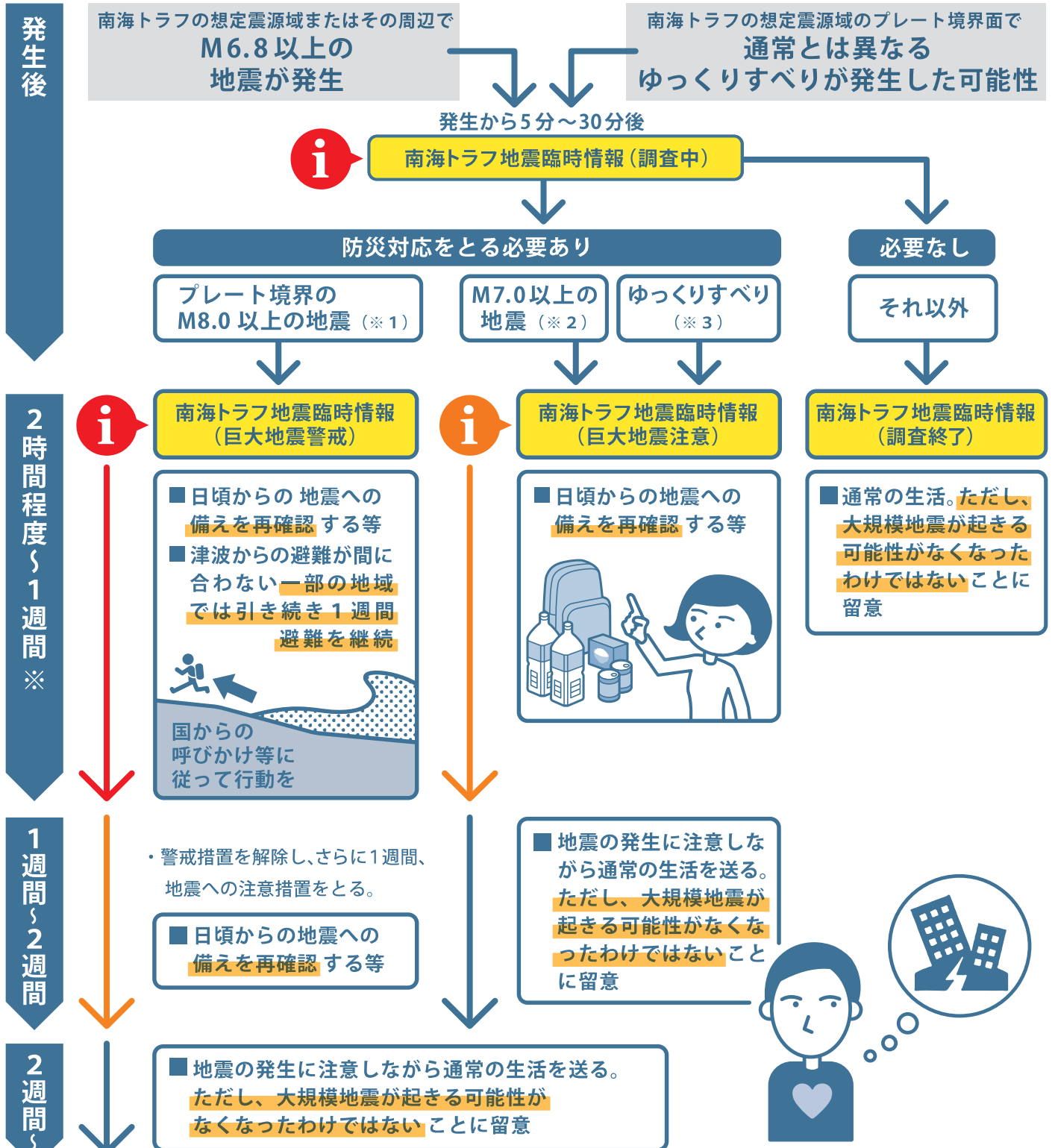
※Mはモーメントマグニチュード  
※西側で先に大規模地震が発生する可能性もあります。



# 時間差で発生する巨大地震に備えましょう ～南海トラフ地震臨時情報～

- ・南海トラフ地震の発生可能性が通常と比べて相対的に高まったと評価された場合に気象庁から「南海トラフ地震臨時情報」が発表されます。
- ・政府や地方公共団体などからの呼びかけ等に応じた防災対応をとりましょう。

## 地震発生後の防災対応の流れ



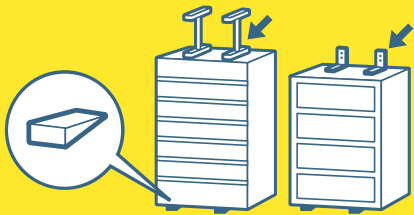
※ゆっくりすべりが観測された場合は、それが収まったと評価されるまで

※1 想定震源域のプレート境界で M8.0 以上の地震が発生  
 ※2 想定震源域、またはその周辺で M7.0 以上の地震が発生（ただし、プレート境界の M8.0 以上の地震を除く）  
 ※3 住民が揺れを感じることがない、プレート境界面のゆっくりとしたずれによる地殻変動を観測した場合など

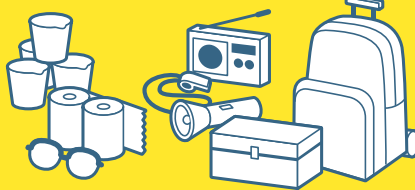


# 地震の発生に備えよう

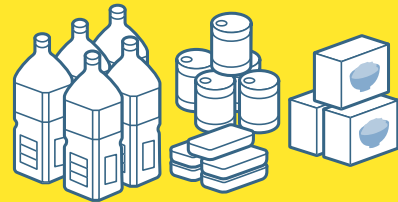
## □ 家具の固定



## □ 非常用 持ち出し袋の準備



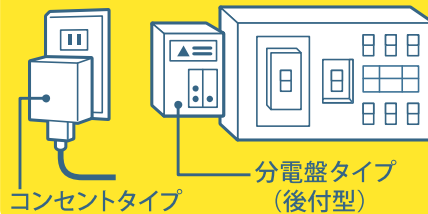
## □ 水や食料の備蓄



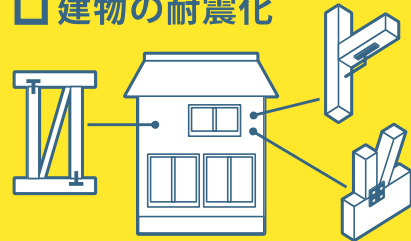
## □ 避難場所や 避難経路の確認



## □ 感震ブレーカーの設置



## □ 建物の耐震化



自らの命、大切な人の命を守るために、今から準備しておきましょう

(発表条件)



## 南海トラフ地震 臨時情報

- 南海トラフ沿いで異常な現象が観測され、その現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合
- 観測された異常な現象の調査結果を発表する場合

キーワード

調査中

巨大地震警戒

巨大地震注意

調査終了

- 観測された異常な現象が南海トラフ沿いの大規模な地震と関連するかどうか調査を開始した場合、または調査を継続している場合

- 南海トラフ沿いの想定震源域内のプレート境界において M8.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- 南海トラフ地震の想定震源域内のプレート境界において M7.0 以上、M8.0 未満の地震が発生したと評価した場合

- 想定震源域のプレート境界以外や、想定震源域の海溝軸外側 50km 程度までの範囲で M7.0 以上の地震が発生したと評価した場合

- ひずみ計等で有意な変化として捉えられる、短い期間にプレート境界の固着状態が明らかに変化しているような通常とは異なるゆっくりすべりが観測された場合

- 巨大地震警戒、巨大地震注意のいずれにも当てはまらない現象と評価した場合



## 南海トラフ地震 関連解説情報

- 観測された異常な現象の調査結果を発表した後の状況の推移等を発表する場合
- 「南海トラフ沿いの地震に関する評価検討会」の定例会合における調査結果を発表する場合（ただし臨時情報を発表する場合を除く）

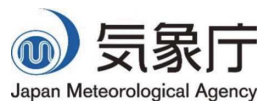


内閣府政策統括官(防災担当)付  
参事官(調査・企画担当)

〒100-8914 東京都千代田区永田町1-6-1中央合同庁舎8号館  
電話：03-5253-2111 (大代表) FAX：03-3501-6820  
内閣府ホームページ <http://www.bousai.go.jp/jishin/nankai/>



## お問い合わせ先



気象庁地震火山部地震予知情報課

〒100-8122 東京都千代田区大手町1丁目3番4号  
電話：03-3212-8341(代表) FAX：03-6689-2917 (耳の不自由な方向け)  
気象庁ホームページ  
<https://www.data.jma.go.jp/svd/eqev/data/nteq/index.html>





# 地震・津波への備えを再確認！（案）

8月8日16時43分頃に宮崎県日向灘を震源とするマグニチュード7.1の地震が発生し、気象庁は、南海トラフ地震臨時情報（**巨大地震注意**）を**発表**しました。大規模地震の発生可能性が平常時に比べて相対的に高まっていると考えられます。関西広域連合では、対策準備室を設置し、関係機関からの情報収集を行っています。

府県市民の皆様におかれては、これまで通り**日常の生活を続けてください**。

ただし、地震発生時の避難場所・避難経路の確認、家具の固定や家庭での備蓄などといった、**地震・津波への備えを再確認**していただき、地震が発生した場合に**速やかに避難できる準備**を行ってください。

引き続き、各府県や市町村から呼びかけや関係機関の**正確な情報に基づき、冷静に行動**いただくようお願いいたします。

まもなくお盆休みを迎えますが、帰省された方々や旅行で関西に来られた方々におかれましても、移動先での自治体等からの情報に注意していただくとともに、避難場所・避難経路などの確認をお願いします。

また、関西圏外へ行かれる方々についても、同様に確認をしていただくようお願いいたします。